

～アウシュビッツ、スロバキアの片田舎、ハンガリー～

平和と交流・美しき中欧

8日間



◆アウシュビッツとブダペストのシナゴグを訪問。 ユダヤ人の歴史を学び、平和と未来を考える旅

人種差別による絶滅政策(ホロコースト)をすすめた負の世界遺産アウシュビッツ強制収容所と第二収容所のビルケナウをじっくり訪問。人口の1/4がユダヤ人だったという戦前のブダペスト。大戦中、多くのユダヤ人がアウシュビッツへ送られました。他のツアーでは滅多に訪れないヨーロッパ最大のシナゴグ・ドハーニ街シナゴグを訪れます。

◆スロバキアに嫁いだヴィツィアン邦子さんのアレンジでほっこりぬくもりの旅

学校訪問や一般家庭にお邪魔し、手づくり昼食での交流。スロバキアのミュージシャンもみなさまを音楽でおもてなし。一般の観光旅行では決して味わえない感動の旅を演出。どことなく懐かしい風景と地元の方々とのふれあいで癒しのひとときを。

◆世界遺産のクラクフ、ブダペストを訪問、華麗なる中欧を楽しむ旅

到着日だけ、ちょっと頑張って！あとは、ゆったりの日程。クラクフとブダペストは2連泊。スロバキア自慢のハイタラス山地の大自然満喫の宿、優雅なシャトーホテルにも宿泊。旅の締めくくりは「ドナウの真珠」ブダペスト。ドナウ川ディナークルーズでロマンチックに。

旅行日程 2026年6月8日(月)～15日(月)
旅行代金 648,000円(羽田発成田着基準)

一人部屋追加料金:85,000円

※燃油サーチャージ

(目安66,000円、2025/11/1現在)

及び諸税別途。

定員 15名様(最少催行:10名様)

添乗員 同行いたします

申込締切 3月4日(水)

驚き!!
ヨーロッパ周遊で
この価格！

旅行日程

①6/8 正午前、羽田発、フランクフルト経由でポーランドのクラクフへ。深夜着【クラクフ】

②6/9 アウシュビッツ強制収容所見学【クラクフ】

③6/10 スロバキアへ。世界遺産スピッシュ城。2600m級の山を背に佇む自然満喫の宿へ【タトラ山麓】

④6/11 邦子さんの親戚の村・プソビーク村で交流後、ハンガリー国境のシャトーホテルへ【ベラ】

⑤6/12 ハンガリーへ。ドナウベント観光後、ブダペストへ【ブダペスト】

⑥6/13 午前、ブダペスト市内観光(ブダ地区、ドハーニ街シナゴグなど)。午後、自由行動。ドナウ川ディナークルーズ【ブダペスト】

⑦6/14 午前、ブダペスト発、ウィーン経由で成田へ【機中】

⑧6/15 朝、成田着

◆利用予定航空会社:ルフトハンザ航空およびオーストリア航空

◆宿泊:下記又は同等クラス
クラクフ:Hotel Campanile Prime、
タトラ山麓:Grand Hotel Stary Smokovec、
ベラ:Hotel Chateau Bela、
ブダペスト:Zenit Budapest Palace

◆食事:朝6昼4夕食5

*本誌掲載のすべての写真はイメージです。

運輸機関のスケジュールの変更、遅延、運行の中止や道路状況などにより、宿泊地や訪問地の順序が変わったり、日程内容を変更することがあります。

(株)たびせん・つなぐへは郵送、電話、FAX、インターネットからお問合せください。郵送、FAXの場合は下記 予約票 をご利用ください。

お問合せ・申込



東京都知事登録旅行業 第3-6101号

(株) たびせん・つなぐ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-15-2クリアール神田B02 総合旅行業務管理者:大西健一
Eメール: info@tabisen-tsunagu.com

企画・実施

(株) タビーズ

TEL :03-5577-6300
FAX :03-5577-6310

ツアー詳細はHPへ
「たびせん・つなぐ」
で検索

観光庁長官登録旅行業 第1-1906号
東京都中央区日本橋堀留町1-10-19 川端ビル2階

キリトリ

予約票

ツアー名

フリガナ			
氏名	生年月日	年	月 日
住所	〒	電話()	ー 歳)
E-MAIL (メールアドレス)			

○こちらにご記入いただいたお客様の個人情報は、当社から各種ご案内等を送る目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。
・マガジン発送の際に使用しているビニールの封筒は、プラスチックゴミになります。

料金後納

ゆうメール

たびせん・つなぐマガジン

tsu・na・gu



サマルカンド (レジスタン広場)



エーゲ海

目次

■光州からのご挨拶、光州ツアー	P1、2
■越境人、済州ツアー	P3、4
■海外ツアー(ベトナム、台湾、ウズベキスタン)	P5、6
■原生林と先住民マオリ族、ニュージーランド&ロッキーツアー	P7、8
■海外ツアー(マレーシア、インド、モンゴル)	P9、10
■鏡としてのタイ	P11
■海外ツアー(トルコ、クロアチア)	P12
■イタリア便り	P13
■個人・グループ旅行(地中海)	P14
■国内ツアー(福島、黒川、北海道)	P15、16
■国内ツアー(八丈島、みちのく、白神)	P17、18
■国内ツアー(東北、大曲)	P19
■宮古便りと宮古島ツアー	P20
■国内ツアー(沖縄)	P21、22
■海外ツアー(アウシュビッツ)	P23



枯葉剝被害者

韓国西南部 光州からのご挨拶

5・18記念財団日本語解説員 **金容哲** (キム・ヨンチョル)

キム・ギルジャさん(写真左)と
キム・ヨンチョルさん(写真右)

私は韓国西南部、全羅南道の光州市で唯一の日本語解説員として活動しているキム・ヨンチョルです。たびせんのみなさんには、コロナ禍が明けこの1年とても親しくお付き合いできました。心からのお礼とご挨拶を送ります。

「5・18民主化運動」と意義付けられている1980年5月18日前後の民主化運動、当時は「光州事件」「光州暴動」とまで報道されました。全斗煥(チョン・ドゥファン)をはじめとする新軍部が、戒厳令に反対し民主化の前進を求める光州市民に対し武力による鎮圧、市民の虐殺をおこなった「事件」です。市民による長年の粘り強い運動で、新軍部勢力は法定処罰を受け、「光州事件」は「光州民主化運動」、さらには「5・18民主化運動」と見直され、1997年には5月18日が国家記念日として制定。毎年光州市で政府主催の式典が開催、犠牲者の墓地も国立墓地に位置付けられました。2011年には長年の努力でユネスコ「世界の記憶遺産」として、5・18民主化運動とその記録が登録されています。

私たち光州市民は二つの言葉を大事にしています。「記憶されない歴史は繰り返され

る」、そして「国の主人公は国民」。光州市を訪ねてください。街のいたるところに同じ国の軍隊が同じ国の市民に発砲し虐殺した歴史とひるまずに民主主義の前進のためにたたかった市民の運動とその息づかいが記録されています。当時の犠牲者の家族、生存者の方々も、その体験を語り継ぐ努力をされています。昨年ノーベル文学賞を受賞したハン・ガンの『少年が来る』の主人公のモデル、ムン・ジェハク君のお母さんのキム・ギルジャさんもたびせんの方々に体験をお話ししてきました。

2024年年末、ユン・ソニョル当時の大統領による突然の戒厳令発令と軍隊の出動の際、多くの市民が国会につめかけ暴挙を許しませんでした。その際1発の銃撃も許すことなく戒厳令の解除、最終的にはユン大統領の失職にま



前夜祭にて当時と同じおにぎりを配布



光州5.18前夜祭



ムン・ジェハク君のお墓の前で取材に応じるキム・ギルジャさん



光州5.18前夜祭

で追い込むことに成功しました。私たち韓国の市民の中で45年前の「民主化運動」が記録され、はっきりと記憶されているからです。

隣人の日本の心ある市民のみなさんとともに、歴史に学び歴史を前に進めたいと思います。

5・18光州民主化運動前夜祭& 記念式典参加とソウル満喫

5日間



旅行日程

●5/16 成田/関西から飛行機で仁川空港→専用車で光州へ【光州】
●5/17 5.18記念財団との懇談など。全南大学。前夜祭参加【光州】
●5/18 光州の式典参加。KTXにて光州からソウルへ【ソウル】
●5/19 自由行動 夜、夕食交流 【ソウル】
●5/20 植民地歴史博物館見学。金浦空港から飛行場で羽田/関西
■食事:朝4、昼3、夕2 ■利用予定ホテル:光州ラマダプラザホテル(光州)相鉄ホテルズザ・スプラジールソウル明洞(ソウル)又は各都市同等クラス ■利用航空会社:アジアナ航空(成田、関西)

旅行日程 '26年5月16日(土)～20日(水)
旅行代金 **239,000円**(成田空港発羽田空港着)
*燃油・諸税別途13,220円(11/27現在レート)
228,000円(関西空港発着)
*燃油・諸税別途13,690円(11/27現在レート)
*1人部屋追加料金 55000円
定員 30名様(最少催行人員:20名様)
添乗員 同行します
申込締切 3月13日(金)



- ①光州民主化運動から46年。光州ゆかりの地をめぐり、前夜祭、式典にも参加
1980年5月18日、市民の手で民主主義への前進を切り開いた「光州事件」。毎年の光州国立墓地での式典には大統領も参加するなど、光州市民はもちろん、韓国の民主主義の原点。市内ゆかりの地をめぐり、市民、団体などとも懇談、交流。
- ②4日目はソウルで終日自由行動。思い思いにソウルを満喫
旅の醍醐味の一つが、自由な街の散策やお買い物。ソウルには観光名所や王宮、市場が多くあります。また、ホテルからは明洞や南大門市場は徒歩圏内。思い思いに観光やお買い物を楽しめます。

朴慶南さん同行

歴史に学び、平和と人権を紡ぐ済州島

5日間



済州オルレ

同行者



朴 慶南さん

1950年鳥取県生まれ。作家、命(人権)が大切にされる社会をめざし、日本と朝鮮半島の懸け橋に、そして世界から戦争がなくなるようにとの願いを原動力に活動。著書に「私たちは幸せになるために生まれてきた」「サムとサラン〜思いはつながる」「あなたが希望です」など多数。近著には「私たちの近現代史」(村山由佳×朴慶南)。

旅行日程 '26年4月1日(水)～5日(日)
旅行代金 **242,000円**(成田空港発着)
燃油等諸税別途 一人部屋追加:62,000円
定員 35名様(最少催行人員:25名様)
添乗員 同行します
申込締切 1月30日(金)

- ①植民地支配と軍事要塞化、「4・3事件」につながる歴史を学ぶ旅
島のいたるところに残された日本海軍の基地跡や人間魚雷壕。南北統一を願う数万の島民が命を奪われた背景にある日本による植民地支配と「要塞化」。しっかり歴史を学びます
- ②慶南さんと済州大学で学ぶ大阪出身の在日4世による対談
日本で暮らす朝鮮半島出身者。とりわけ数多くの済州島出身者。「なぜ?」と考えてみませんか。在日の歴史と思いをたどり、ともに手を取り合って切り開く人権が尊重されヘイトが許されない社会。人権と共生を一緒に考える旅。
- ③「4・3式典」と芸術あふれる前夜祭、絶景と自然
地元の方の協力で記念式典はもちろん、前夜祭にも参加。そして、素晴らしい済州の文化、芸術を堪能。「韓国のハワイ」とも例えられる海と山の絶景、海沿いに整備されたオルレ(散策路)をゆったりと。

旅行日程

④4/1 お昼頃成田で出発前交流会、夕方大韓航空利用で済州へ【済州】
④4/2 城山日出峰と人間魚雷秘匿壕跡など、前夜祭参加【済州】
④4/3 4.3追悼式典参加。ソウル聖公会大学の先生との懇談、4.3平和記念館【済州】 ④4/4 松岳山やアルトゥル飛行場跡、オルレを散策 済州大学に通う在日4世と慶南さんとの対談【済州】 ④4/5 ホテルチェックアウト後空港へ、済州空港発 14時半頃成田着
■食事:朝4、昼3、夕3 ■利用予定ホテル:メゾングラッド済州 又は同等クラス ■利用航空会社:大韓航空

ルーツは済州島

京都生まれ
いま済州大学で
学んでいます

— 「越境人」 金原光希



「私は在日朝鮮人三世の母と日本人の父のもとに生まれた金原光希です」。ルーツも含めてきちんと自己紹介したいと思える相手には、毎回このように伝えています。

「日本人」として思われてきた私

私は見た目も名前からも外国人と見られることはなく、自らルーツについて話さない限り日本人と思われてきました。外見から外国人と判断される人とは違う点です。しかし隠せるからといって気楽に過ごせるわけではありません。

私がルーツを知ったのは保育園の頃でした。母から「光希には朝鮮と日本、両方の血が流れているんだよ」と教えられ、どちらにも関係のあることを誇らし

く思いました。「お母さんより上の世代は在日朝鮮人だと堂々と公言できなかった」と聞かされても、その意味をすぐには理解できませんでした。しかし、小学校高学年になるにつれて同調圧力を強く感じるようになり、朝鮮半島にルーツがあることを否定的に思うようになっていきました。

それでも多くの人と違う行動を取ったことがあります。君が代不起立です。君が代が戦争で使われ、アジアを侵略していった歴史を知り、平和な世の中をつくっていかようとしている私たちが歌うべきではないと考えたためです。勇気を出した行動でしたが、ある同級生からは「おまえ、韓国だからだろ?」と言われ、私の意図が伝わらず、歯がゆく思いました。

「越境人」という目標

高校は日本人だけでなく、在日朝鮮人、韓国や中国、アメリカなどの留学生が通う学校に進

学しました。温かくて多様性にあふれた場所で、私はようやくありのままの自分であることができました。そして学校の理念である「越境人」が私の理想となりました。日本でも韓国でも黙っていれば日本人と見られます。〇〇人と一言で表せない私は、どこでもきちんと分かってもらうと、理解しやすい方法で「日本人」というくくりに入れられてきました。私の経験の中で、在日朝鮮人は日本では差別されるマイノリティであり、韓国では十分に理解されていない存在でした。そんなどこにも居場所がないように感じていた私にとって、「越境人」という言葉は朝鮮と日本、両方にルーツを持つ私だからこそ、両者をつなぐ懸け橋になれるのではないかという希望と、新たな目標をくれたのです。

済州大学で学ぶ日々

現在は済州大学の看護学科三年生です。母方のルーツが済州島にあり、祖先の地を自分の目で確かめたいと思ったことが留学の大きなきっかけでした。大学では看護の課目以外に「済州の歴史と文化」という授業を選択、さらに日本の「済州4・3を考える会」と済州の方々による済州4・3ピースツアーに参加。済州4・3平和公園は、一つ一つの石碑が犠牲者を数としてで

はなく一人ひとりの存在と人生を感じさせてくれました。多くの村人が犠牲となり、存在が消失した村が二百以上あると聞いたときは衝撃を受けました。

「植民地支配」は過去のことではない

韓国に留学して、日本帝国による植民地支配が「遠い過去」ではなく、いまでも人々の記憶の中に生き続けている「現在進行形の歴史」であるということを実感しています。また、市民の多くが団結する力を持っていることに感銘を受けました。どのような方法で団結できるのかを知っているのです。戒厳令が出された際に国会へ駆けつけた人々、続いて行われた退陣デモに参加した人々。現場には行けなくとも温かい飲み物を提供して支援した人、参加者を無料で会場ま

で送ったタクシー運転手などの報道がありました。現場に行き声をあげるだけでなく、他の方法でもつながっていく、こうして同じ思いをしている人の存在を感じながら、声を上げる人は孤立せずに戦えるのです。

歴史に学び、「越境人」をめざして

「済州4・3」を学び、何気なく歩いていた場所、自然豊かで心地よい場所にも悲惨な歴史が眠っているかもしれない。「知らずに歩く」と「知って歩く」ことでは、見える景色がまったく違います。済州には4・3と無関係な場所はほとんどないと言われています。でも知ろうとしなければ、そんな歴史的な場所を素通りしてしまうことになるのです。

「越境人」とは〇〇人という枠

や国を超えて、つながっていく人のことだと思っています。だからといって「日本人も在日も韓国人も関係ない。みんな一緒だよ」というのも違うと思うのです。植民地時代の反省が行われていないことは確かなわけで、それを無視して手を取り合うのではなく、歴史にきちんと目を向けていく必要があると思います。

これからも済州島で学び、理想とする「越境人」をめざしていきたいです。

NEWS

在日という共通点のある
光希さんと慶南さんの対
談は4月1日発の済州島
ツアーで!

COLUMN

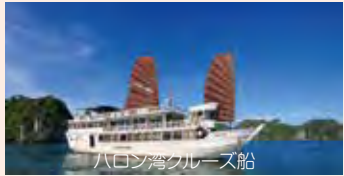


済州島の景色

石川文洋さん企画・協力
「戦場のカメラマン」文洋さんが見た
解放50年のベトナム

ホーチミン ハノイ・ハロン湾 7日間

旅行日程 2026年3月3日(火)～9日(月)
旅行代金 265,000円(成田発羽田着)
*燃油等諸税別途 一人部屋追加:65,000円
定員 25名様(最少催行:15名様)
添乗員 同行します(石川文洋さんは同行しません)
申込締切 締切間近



1966年12月米兵を
見つめるソーさん



2025年4月文洋さんとソーさん家族

- ①戦場を見つめた幼い瞳と孫を見守る瞳ソーさんを通じて考える「命どう宝」
50年前、戦場を怯えて見つめた幼い瞳、いまは孫をいとおしげに見守る瞳に。命がつながってこそ感じる瞬間。ソーさんの村を訪問、沖縄の言葉「命どう宝」、命こそ、平和こそ宝をいっしょに考えます。
- ②「こうした世界になるとは考えもしなかった」(石川文洋さんの言葉)
「戦場のベトナム」と経済発展を遂げたベトナム。50年の時を超えて見続けた文洋さんの感想。ホーチミンとハノイ、両方の町を訪ね、平和の尊さを実感。枯葉剤被害者でパラリンピックアジア大会のベトナム代表とも交流。
- ③北爆の舞台「トンキン湾」と世界遺産のハロン湾や少数民族の村滞在でゆったりした時間を堪能
アメリカによる北ベトナム爆撃の口実とされたトンキン湾事件。その一部がハロン湾。戦火にまみれた海面が、世界遺産で大人気の観光地に。日帰りクルーズで楽しめます。少数民族の村ではホームステイを。

旅行日程

①3/3 朝成田発、ホーチミン着【ホーチミン】
②3/4 ソーさんの村を訪問・交流【ホーチミン】
③3/5 午前フリー、ホーチミン→ハノイ【ハノイ】
④3/6 少数民族の村マイチャウ村訪問【マイチャウ村】
⑤3/7 マイチャウ村滞在 ハノイへ移動【ハノイ】
⑥3/8 日帰りハロン湾クルーズ【ハノイ】
⑦3/9 ベトナム航空にて帰国の途に、午後羽田着
■利用予定ホテル: 下記または同等クラス
ホーチミン市: AquariHotel、ハノイ: LacasaHotel、
マイチャウ村: ホームステイ
■利用航空会社: ベトナム航空
■食事: 朝6、昼4、夕5

独立 80 年、 解放 50 年の ベトナムツアー 第 3 弾 「しんぶん赤旗」元ハノイ特派員 北原俊文さん同行 ベトナム3つの世界遺産をめぐる 6日間

ゆったりと連泊して
歴史と文化・自然を満喫



ホイアンの露天商のおばさん

旅行日程 2026年5月7日(木)～12日(火)
旅行代金 260,000円(成田空港発着基準)
*燃油・諸税等別途
*お一人部屋追加代金32,000円
定員 20名様(最少催行人員:10名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 3月19日(木)



ベトナム料理



ホイアンの旧市街

旅行日程

①5/7 ベトナム航空便でハノイ経由フエ【フエ】
②5/8 終日、世界遺産のフエ建造物群観光【フエ】
③5/9 専用車でホイアンへ。途中、ハイヴァン峠、五行山など観光【ホイアン】
④5/10 午前、世界遺産の旧市街観光。午後、チュボン川沿いを散策【ホイアン】
⑤5/11 午前、世界遺産ミーソン聖域観光。午後、ダナンへ移動しお買い物
⑥5/12 未明のベトナム航空便で成田へ【機内】
■利用航空会社: ベトナム航空
■利用ホテル: Muong Thanh Holiday Hue(フエ)、Thanh Binh Riverside HoiAn(ホイアン)
■食事: 朝4昼4夕5

- ①世界遺産の街に連泊、ミーソン聖域にも
グエン朝王宮や陵墓が残るフエ、保存状態の良い古い街並みが残るホイアンの、世界遺産の街に連泊し、ゆったりと観光。5日目には古代チャンパ王国の遺跡・ミーソン聖域も訪れ、ベトナムの9つの世界遺産のうちの3つを堪能します。
- ②「世界で最も美しい海岸道路」を専用車で
フエからホイアンまでのバス移動の途中では、ハイヴァン峠を通行。海に突き出た峠では常に霧が立ち込め、「海雲(ハイヴァン)」が峠名に。
- ③リゾートホテルで旅の疲れも癒されます
ホテルはどちらもロケーションに優れたリゾートホテルで、お部屋は清潔で広々。

基隆・瑞芳・金瓜石 一味違った台湾 5日間 九份をめぐる



九份老街

旅行日程 2026年5月26日(火)～30日(土)
旅行代金 215,000円(成田空港発着基準)
*燃油・諸税等別途、11/25現在20,780円
*お一人部屋追加代金50,000円
定員 20名様(最少催行:10名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 3月19日(木)



黄金博物館の坑道体験



黄金博物館入口

旅行日程

- ①日本統治時代の収奪の歴史を鉱山町から
当時建設された鉱山の精錬所では廃墟となっている十三層遺跡、金鉱跡の金瓜石・黄金博物館敷地内には、当時の日本式家屋も多数残されています。
- ②リニューアルオープンした台北二二八纪念馆も見学
1947年2月28日、台北市で発生し全土に広がった国民党政権による長期にわたる民衆への弾圧・虐殺の引き金になったのが二二八事件です。2025年の記念日に向けてリニューアルされた纪念馆を訪れます。
- ③台湾の観光スポットを満喫する旅
夜市見学と夕食(自由食)。昔ながらの伝統を今に伝える十分老街での天燈上げ。台湾有数の湯地場として知られる北投温泉での温泉三昧。茶葉の名産地・台北猫空(マオコン)にロープウェイで登り、茶葉スイーツに舌鼓。

①5/26 成田から台北桃園空港へ、猫空観光【台北】
②5/27 午前・基隆に移動し史跡訪問、午後・十分老街で天燈上げ【台北】
③5/28 十三層遺跡や黄金博物館など、九份老街散策と夜景を見ながら夕食【台北】
④5/29 午前・台北市内で自由行動、午後・北投温泉へ【北投温泉】
⑤5/30 台北二二八纪念馆・昼食、台北桃園空港から成田へ
■利用航空会社: チャイナエアライン
■利用ホテル: ハワードプラザホテル(台北)、スイートミーホットスプリングリゾート(北投温泉)
■食事: 朝4昼2夕3

～ヒヴァ、ブハラ、サマルカンド、タシケント～ シルクロードのオアシス・ウズベキスタン 8日間

旅行日程 2026年5月8日(金)～15日(金)
旅行代金 428,000円(成田空港発着基準)
*燃油サーチャージ
(41,000円:基準日2025/10/1現在)
及び空港諸税は含まれていません。
*一人部屋代金(65,000円)別途
定員 15名様(最少催行人員:10名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 3月19日(木)



サマルカンド



ヒヴァ

旅行日程

①5/8 午前、成田発、直行便でタシケントへ。【タシケント】 ②5/9 国内線でウルゲンチ又はヌクスへ。着後ヒヴァへ。世界遺産イチャンカラ観光。【ヒヴァ】 ③5/10 延々と続くキジルクム砂漠を走りブハラへ(約7時間)。【ブハラ】 ④5/11 世界遺産ブハラ歴史地区終日観光と日本センター訪問。民族舞踏ディナーショー(雨天中止)【ブハラ】 ⑤5/12 シャフリサブスへ移動。ティムール生誕の地・シャフリサブス観光。サマルカンドへ移動【サマルカンド】 ⑥5/13 文明の交差点世界遺産サマルカンド終日観光。レギスタン広場、シャヒズィンダ廟群など【サマルカンド】 ⑦5/14 タシケントへ。タシケント市内観光。一般家庭訪問。夜、直行便で帰国の途に【機中】 ⑧5/15 午前、成田着
※運輸機関のスケジュールの変更、遅延、運行の中止や道路状況などにより、宿泊地や訪問地の順序が変わったり、日程内容を変更することがあります。
■利用予定航空: ウズベキスタン航空
■利用予定ホテル: 下記又は同等クラス
ダ・バイ・ウィングダム(タシケント)、マリカヒヴァ(ヒヴァ)、グランドブハラ(ブハラ)、デ・ヴィラホテル(サマルカンド)
■食事: 朝6昼6夕7

- ①ウズベキスタンの魅力を凝縮した充実の8日間
東洋と西洋の十字路口、百聞は一見にしかずが最も似合う国。主な見所を短期間で効率よく巡ります。各地の名物料理もご用意。成田から直行便利用、ブハラとサマルカンドでは2連泊で体に優しいのもうれしい。
- ②ウズベキスタンが誇る4つの世界遺産を全てご案内
中世の街並み残るヒヴァ、商業都市レンガ色の街ブハラ、英雄ティムール生誕の地シャフリサブス、青の都サマルカンドの4つの世界遺産を全て見学。
- ③現地の人との交流もたっぷり
一般家庭で家庭料理をいただいたり、日本語を学ぶ学生さんと交流したり。親日家のウズベキスタン人、街中でも一緒に写真を撮ってほしいと頼まれたり、お茶に誘われたり。その人なつこさにきっと一瞬で離れがたくなってしまいますよ。

星降る森と神々の大地 ニュージーランド南北縦断

8日間



マウントクック国立公園

- ①表情の異なる南島と北島、それぞれのいいところ取りしちゃおう！
【南島】「女王にふさわしい町」と称されるクイーンズタウンに2連泊。ニュージー最高峰を有するマウントクック国立公園(世界遺産)にご案内。これぞ、ニュージー！という大絶景をご堪能ください。
【北島】マオリ族がニュージーに初めて降り立ったとされる神聖な場所・ホキアンガに2連泊。神聖な夜の森を、本物のマオリに案内してもらい、彼らの考え方、生き方に触れることは人生観さえ揺るがすほどの感動の体験になることでしょう。他のツアーでは、めったに訪れない担当者こだわりの内容です。
- ②ゆとり日程&充実の内容
往復ニュージーランド航空利用。欲張らずに訪問地を厳選。宿泊は2連泊中心。一部しかガイドが付かないことが多いニュージーランドの旅ですが、たびせんの旅では日本語ガイドが同行し、ご案内しますので、より深く本当のニュージーを知ることが出来ます。

旅行日程 2026年10月15日(木)～22日(木)
旅行代金 お問い合わせください
*各地空港税別途、一人部屋追加代金別途、電子渡航認証(NZeTA)代・取得代行料別途

定員 15名様(最少催行:10名様)
添乗員 同行致します
申込締切 2026年7月10日(金) ※定員次第締切

旅行日程

- ①10/15 夕刻成田発、オークランドへ【機中】
②10/16 着後、オークランド市内観光【オークランド】
③10/17 国内線でクイーンズタウンへ。市内、自由散策【クイーンズタウン】
④10/18 終日、マウント・クック観光。ミニハイキングを予定【クイーンズタウン】
⑤10/19 空路、オークランドへ。マオリ族の住む村・ホキアンガへ【ホキアンガ】
⑥10/20 学校訪問(予定)。午後、自由散策。マオリの案内で夜の森に入ります。【ホキアンガ】
⑦10/21 オークランドへ。途中、ニュージーランド国家誕生の地・ワイタンギ条約記念館【オークランド】
⑧10/22 帰国の途へ。夕刻、成田着。
■利用航空会社:ニュージーランド航空
■利用予定ホテル:下記又は同等ホテル※2～3名様でご利用いただけます。Sudima Queenstown (クイーンズタウン)、The Heads Hokianga (ホキアンガ)、Mt. Albert Lodge (オークランド)
■食事:朝6食5タ4

初夏に訪ねる カナディアン・ロッキー花山歩

7日間



モレーンレイク

旅行日程 2026年6月20日(土)～6月26日(金)
旅行代金 612,000円(成田発着基準)
※3名の相部屋になります。
・燃油サーチャージ(目安:10/1現在50,000円)及び諸税別途
・eTA(電子渡航認証)および登録代行費用代別途

定員 5名様(最少催行人員:5名様)
添乗員 同行します
申込締切 5月1日(金)

- ①カナディアン・ロッキーの自然美を満喫！
雪解けあとに咲き始める愛らしい花たちと雄大なロッキーの山々のコントラストはまるで夢のよう。自然が織りなす絶景の中、可憐な花を探しながらハイキングを楽しみます。初心者でも安心してご参加いただけるゆったりコースです。
- ②田中康一さんが最高のロッキーをご案内
ガイドの田中さんはツアー直前に下見。お天気、開花や残雪の状況、お客様の体調などにより、その日最も良い場所をご案内するという徹底したプロ意識の持ち主。ハイキング中のお昼は州の食品管理資格を持った妻の啓子さんが担当。ふたりの愛がざっしり詰まった「あったか～い旅」。
- ③暮らすように旅してみませんか？
5名限定だから、アットホームな雰囲気。キッチン付きの宿に連泊。朝夕食は、体調や好みに合わせて…というスタイルが好評。スーパーで買い物をして、ワイワイ食事を作るのも楽しく、参加者がすぐに打ち解けてしまうのもこの旅の魅力。せかせかツアーはもう卒業、カナダ時間でゆったりお楽しみください。

旅行日程

- ①6/20 夕刻、成田発ロッキーの玄関口カルガリーへ。キャンモアへ【キャンモア】 ②6/21 終日、カナディアン・ロッキー湖めぐり(レイクルーズ、ペイトーレイクなど)【キャンモア】 ③6/22～24 終日ロッキー・フラワーハイキング。その日ベストな場所へご案内(グラスシーレイクスなどを予定)【キャンモア】 ④6/25 午後、カルガリーから帰国の途に【機中】 ⑤6/26 午後、成田着
■利用予定航空会社:ウェストジェット
■宿泊:ロッキーマウンテンスキーロッジ又は同等クラス
■食事:朝0食4タ1

ニュージーランド

原生林と先住民マオリ族



ガイドの池田大介さん

かつてこの島は、ほぼすべてが原生林に覆われていた。
しかし19世紀に入ると、主にイギリスからの開拓民によって次々に伐採され、その多くは牧場や街へと姿を変えていった。

それでも今なお、数億年前——
南半球が「 Gondwana」という大陸で結ばれていた頃の姿を、そのままに残す森がある。

ニュージーランド北西部、ワイポウア原生林。
この森で行われる「夜の森ツアー」は、午後六時にホテルを出発する。
案内役は地元マオリの人々。

「“ワイ”は夜、“ポ”は雨、“ウア”は森——
つまり、ワイポウアとは“夜の雨が降る森”」

そんな説明を聞きながら、夕やみ迫る森へと進む。
舗装道路が途切れ、緑はしだいに深みを増す。
辺りの空気はすでに冷たく、空は沈み、森全体がしんとした闇に包まれていく。

懐中電灯を手に森へ入る。
足音と息づかいが、静寂の中で響く。
闇を前に、それらは少しずつ早まり、息はわずかに荒くなっていった。

半時。
ルル(フクロウ)の声が夜の訪れを告げる。
加えて、キーウイバードの鳴き声がそれに応える。
ルルは時を告げる針のように、

キーウイのオスは澄んだ高音で、メスは少しかすれた低音で、お互いの存在を確かめ合うように、静かに鳴き交わしている。

さらに半時。

ライトが闇の中で巨木を照らす。
最初は輪郭も曖昧だったが、やがて、神殿が立ち上がるように姿を現した。

森の神——「タネ・マフタ」。
高さ55メートル、幹回り14メートル。樹齢およそ2400年。
その圧倒的な存在感に、誰もが言葉を失う。

鳥はなお鳴き、風が葉を渡り、遠くでさざ波が響く。
森の命が、ひそやかに脈打っているのがわかる。

その中で、ガイドが静かに口を開いた。

「昔、天(ランギ)と地(パパ)は固く抱き合っていた。あまりにも強く結びついてしまったため、そのあいだには光も風も入り込めなかった。

やがて子どもたちはこう願った。
『光を見たい。風に触れたい。』

多くの神々が引き離そうとしたが、誰もできなかった。そして最後に動いたのが、この森の神——タネ・マフタ。

タネは逆立ちのようにして立ち上がり、母なる大地パパを背に、父なる空ランギを足で押し上げた。ランギは叫んだ。『やめろ、タネ！ わしらを離してはならん！』けれども、タネはその声に従わず、大地と空を引き離した。

そして——

ガイドはそこで言葉を切り、静かに空を仰いだ。
枝の隙間から、満天の星々がこぼれ落ちるように輝いていた。



カウリの木「森の神」



クチンで過ごす「癒しのごほうび旅」

林屋 智子

マレーシアとのご縁は、日本との行き来を続ける二拠点生活から始まりました。クアラルンプールの都会的な雰囲気も魅力的ですが、私が「帰ってきた」と感じるのが、ボルネオ島サラワク州の街クチンです。ゆったり流れる川と人のあたたかさに包まれ、初めての方でも自然と肩の力が抜ける場所です。

マレーシアはイスラム教徒が多数派の国ですが、サラワクは先住民族、マレー系、中国系など多民族・多宗教が自然に混ざり合って暮らす地域です。モスクの隣に教会や中国寺院が並ぶ風景は、この土地の「違いを認め合う」歴史そのものです。

その多様性が最もよく表れているのが食文化です。サラワクの人

はとにかく自分たちの料理自慢で、クチンはユネスコに美食の都と認定されています。スパイス香るサラワク・ラクサ（“神々の朝食”と呼ばれる麺料理）をはじめ、中国系の麺コロミー、竹筒で蒸し上げる先住民族のアヤム・パンソーなど、多彩な料理が一つのテーブルに並びます。

今回の旅では、野生のオランウータンが暮らす森や熱帯雨林の国立公園、先住民族の伝統家屋が集まるサラワク文化村、女性職人たちが織物を受け継ぐ工房「Tanoti House」、ボルネオ文化博物館などを巡り、大自然と文化、そして多民族社会から生まれた食文化を六日間で立体的に味わっていただきます。

お一人参加の方が多く世代だからこそ、少人数で同世代の仲間と語り合いながら旅をすることで、新しい視点やつながりが生まれます。この旅が、日常から少し離れて「これからの自分の時間」を見つめ直すきっかけになればうれしく思います。クチンの川辺で皆さまと同じ食卓を囲める日を楽しみにしています。



サラワク料理

マレーシア・ボルネオ島の大自然と文化満喫

忙しい毎日から少し離れて、「これからの自分の時間」をゆっくり見つめ直す
——そんな大人のごほうび旅

6日間



ラフレシア

サラワク文化村

旅行日程

●6/26 午前、成田発、一都市乗継でボルネオ・サラワク州のクチンへ。【クチン】 ●6/27 午前、サラワク文化村。午後、セメング野生動物センターでオランウータンの給餌見学【クチン】 ●6/28 終日、グマンガディン国立公園で熱帯雨林散策。世界最大の花ラフレシアと世界最長の花のオオコンニャクが見られたらラッキー。夜、サンセット・リバー・クルーズ【クチン】 ●6/29 クチン市内観光（マルガリータ砦、ネコ博物館、モスクなど）。先住民族の女性職人たちが伝統工芸を受け継ぐ工房見学【クチン】 ●6/30 午前、自由行動。午後、東南アジアと誉高いボルネオ文化博物館。夜、一都市乗継で成田へ【機中】 ●7/1 朝、成田着
■利用予定航空：ロイヤルブルネイ航空またはマレーシア航空
■利用予定ホテル：Meritin Hotel Kuchingまたは同等クラス
■食事：朝4食2夕2

旅行日程 2026年6月26日(金)～7月1日(水)
旅行代金 295,000円(成田発着基準)
※一人部屋代金：26,000円別途
※燃油(目安：2025年11月1日現在26,000円)&諸税別途
定員 12名様(最少催行：8名様)
添乗員 成田空港から帰路の乗継空港見送りまで同行
申込締切 2026年4月24日(金)

◆マレーシア・トラベルコンサルタント林屋智子さん同行

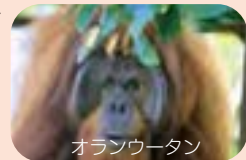
マレーシア二拠点生活歴10年。現地を知り尽くした林屋さんが、サラワク州クチンの“癒し旅”をコーディネート。少人数ツアー&12名様限定なので、お一人参加でも自然と旅仲間ができる安心の旅です。

◆美食の都クチンで、大自然と文化を一度に満喫

マレー語で「猫」を意味するクチンは、ユネスコ認定の「美食の都」。名物サラワク・ラクサ（“神々の朝食”）や川沿いのスローライフ、野生のオランウータンや熱帯雨林の自然体験まで、街歩きとネイチャーを一度に楽しめます。

◆ゆったり5連泊、暮らすように滞在

混雑が少ない穴場の街クチンで、便利な立地のホテルに5連泊。荷ほどきは一度だけで、のんびり滞在。観光や散策の合間には、川沿いの遊歩道やおしゃれなカフェでひと休みしながら、“暮らすように旅する”感覚で心とからだを整えます。



オランウータン

ベストシーズンに行く初めてのインド ～北インド、人気の3都市デリー・ジャイプール・アグラ周遊～

7日間



タージマハル

旅行日程

●3/6 正午前、羽田発デリーへ。《デリー》 ●3/7 ピンクシティと呼ばれるジャイプールへ。《ジャイプール》 ●3/8 ジャイプール市内観光とアンベール城見学。家庭訪問で交流。《ジャイプール》 ●3/9 アグラへ。途中、世界遺産ファーターブルシクリ見学。世界遺産のタージマハルとアグラ城見学。《アグラ》 ●3/10 デリーへ。途中、マトゥーラに立ち寄り、ガンジス川支流のヤムナー川で川下り。《デリー》 ●3/11 デリー市内観光。世界遺産のクトゥブミナール、フマユーン廟など見学後、空港へ。夜、帰国の途に。《機中》 ●3/12 早朝、羽田到着
■利用予定航空：日本航空 ■利用予定ホテル：下記または同等クラス デリー近郊：GOLDEN SUITES、ジャイプール：SAROVAR PREMIERE、アグラ：HOWARD PLAZA THE FERN ■食事：朝5食5夕5

旅行日程 2026年3月6日(金)～12日(木)
旅行代金 298,000円(羽田発着基準)
※一人部屋代金：49,000円
※燃油(目安：2025年10月1日現在32,000円)&諸税、ビザ代別途
定員 15名様(最少催行：8名様)
添乗員 同行致します
申込締切 2026年1月5日(月)

- ①インドが初めての方にお勧めの見逃せない観光スポットや世界遺産を満載。乾季の3月初旬はインド観光のベスト・シーズン。
- ②インド人を夫に持つベテラン添乗員が、ひと味違ったインドをご案内。親戚や知人宅を訪問、温かいおもてなしに感激。また、観光客向けの土産屋ではない穴場のショッピングにご案内します。質の良いものが安価で買えると大好評。
- ③インド旅行は安心・安全が第一。全行程日本語ガイド&添乗員のダブルサポート。日本航空利用も安心。



小久保 千代子さん

静岡県南伊豆町出身。
海外添乗員歴35年、世界中をまわる。
23年前にインド人と結婚、夫と共に人気インドレストランを切り盛りする中、持ち前のバイタリティーで添乗もこなす。豊富な知識と経験、明るく世話好きな性格は多くのお客様から厚い信頼を得ている。

同行添乗員紹介

感動！大自然&ふれあい モンゴル紀行

6日間



ウンドゥルシレットキャンプ場

旅行日程

●7/7 午後、成田→ウランバートル【ウランバートル】 ●7/8 午前、ウランバートル→カラコルム(約6時間)。午後、カラコルム観光(カラコルム博物館)。伝統音楽鑑賞【カラコルム】 ●7/9 午前、カラコルム観光(エルデニゾー寺院など) ●ウンドゥルシレット(約4時間)。カヌー体験【ウンドゥルシレット】 ●7/10 乗馬レッスンと乗馬体験、遊牧民ゲル訪問。夜はキャンプファイヤー【ウンドゥルシレット】 ●7/11 午前、ウランバートル。家庭訪問、スーパーでお買い物。【ウランバートル】 ●7/12 早朝、ウランバートル→成田
■予定航空会社：モンゴル航空またはアエロモンゴリア ■宿泊施設：下記又は同等クラスMongolica Hotel & Resort (ウランバートル)、Kara Korin Tourist Camp(カラコルム)、Undershireet Riverside Camp(ウンドゥルシレット) ※カラコルムとウンドゥルシレットの宿泊はゲルになります(3～4名利用)。■食事：朝5食4夕5

旅行日程 2026年7月7日(火)～7月12日(日)
募集型企画旅行代金 258,000円(ウランバートル空港集合・解散)

※一人部屋代金別途(39,000円)
【別途手配】手配旅行代金(成田⇄ウランバートルの航空券は、別途、手配旅行契約としてお引き受けします。)目安(2025年11月1日現在)：航空券(110,000円)、燃油諸税(15,000円)、手配手数料：3,300円
*お客様は、当社と募集型企画旅行契約と手配旅行契約を締結いただくことになります。

定員 15名様(最少催行人員：10名様)
添乗員 同行致します
申込締切 5月1日(金)



乗馬体験

◆椎名誠監督の映画「白い馬」の舞台にもなったウンドゥルシレットキャンプのゲルに2連泊。大草原のそばを川が流れるキャンプ場は数あるキャンプ場の中でも珍しい。夜は周辺の明かりがないので、満天の星空が期待できます。

◆乗馬体験、カヌー体験、遊牧民ゲル訪問&交流、伝統音楽鑑賞など様々なアクティビティをお楽しみいただけます。

◆モンゴルのベストシーズンは6～8月ととても短い。この時期はモンゴルでは雨期にあたり、一雨ごとに草原の緑が色濃くなってきます。爽やかな大草原の空気を体いっぱいに感じて下さい。

鏡としてのタイ 「境界」の彼方に見た「日本」

島村 輝（フェリス女学院大教授）



これまで何度も「またタイに行きたくなった」と思ってきた。といっても、「また行きたくなった」と言うだけで、実際に訪れたことはなかった。コロナ禍以降、海外旅行から遠ざかっていたが、今回ようやく機会を得て、馴染みの〈たびせん・つなぐ〉さんにお越し、バンコク、チェンマイ、チェンライをめぐる四泊五日の旅が実現した。

北部チェンライからラオス、ミャンマーとの国境に向かう道。山々は霧にけむり、メコンの流れはゆるやかで、そこに「国境」と呼ばれる線は見えなかった。けれども、人々の言葉や通貨、宗教儀礼の微妙な違いのなかに、確かに「線」は存在していた。それでも、この地の人々はその線を軽やかに越えて生きている。市場ではラオス語まじりのタイ語が飛び交い、国をまたいで働く人々の姿も多い。国家という制度の境界よりも、人々の暮らしのほうがあるかにのびやかに続いているのだ。

旅の印象を強く残したのは、チェン

マイ郊外のワット・ロンクンだった。真白な壁面に鏡片を散りばめ、太陽を受けて万華鏡のように輝く寺院。現代美術家チャルーンチャイ・コーシッピパットが私財を投じて造営した「生きた功德」の芸術装置である。金箔と光に満ちた伽藍の中で、信仰と美がひとつに溶け合っていた。寄進も創造も祈りのかたち——それは、信仰が絶えず新しく生まれ変わる姿なのだろう。日本の寺とはまったくイメージが異なるが、その底に共通の仏教があることに、どこか親しみも覚えた。

バンコクでは、かつて職もなく橋の下で暮らしていたという最貧困の人々が、回収してきた廃品などをクーポン券に交換して生活に必要な品々を得る「0 パーツショップ」と呼ばれるコミュニティを訪問した。裏庭の小さな畑でとれた野菜やハーブをお湯に入れ、タオルをかぶって吸入するヒーリング法や、回収した古紙から作った手芸品など、物質的に豊かな暮らしとはいえない

いが、自らの手で自立した生活を築き、穏やかに誇りを持って生きている人々の姿は、心に深く残った。

そして、旅の楽しみといえばやはり食。バンコクの伝統舞踊の夜、舞台にあわせて供された上等なコース料理はもちろん、市井の人々で賑わう屋台の味にも驚かされた。酸味や辛味の絶妙な調和、香草の清涼な香り、素朴なナマズ料理までがどこか懐かしく、毎回「これぞ本場の味」と唸った。食堂の明るい笑顔と、屋台に漂う香辛料の匂いは、旅の記憶の中でもいちばん温かく残っている。

振り返れば、この旅は単なる観光ではなかった。国境という「線」がいかに人間のつくったものであるかを思い、同時に、どんな境も越えてゆく人々のたくましさ心打たれた。仏教の寛容、民族の混ざり合い、ゆるやかな越境の感覚——タイの多層的な現実、日本の均質な社会を映し返す鏡のようだった。

旅は終わったが、心の中ではまだ旅が続いている。これからは本当に「またタイに行きたくなった」と思うことだろう。その機会には、彼の地の風と光の中で、もう少し深く自分自身の「境界」を見つめてみたい。



0 パーツショップ



タイ料理とタイ古典舞踊

こんな旅はいかがですか？

- ① バンコク経由チェンマイへ
- ② チェンライ日帰り観光：ワット・ロンクン、紅茶農園、ゴールデンライアングル
- ③ チェンマイ市内・郊外観光：バーデン寺院、首長族の集落、ワロロット市場、旧市街、夕食後・ナイトバザール散策
- ④ バンコクへ移動、バンコク市内観光：0 パーツショップ、チャイナタウン・王宮周辺を車窓から、タイ料理とタイ古典舞踊鑑賞
- ⑤ 成田へ

東西文化の交差点・不思議の国トルコ

10日間



カッパドキア

① およそこの世のものとは思えない不思議な光景に言葉を失うカッパドキアの奇岩群、「綿の城」を意味するバムツカレの石灰棚、悠久の歴史を今に伝えるエフェソスの古代遺跡、シュリーマンの発掘によって古代の歴史が明らかになったトロイの遺跡、ヨーロッパとアジアが交差するイスタンブール歴史地区。トルコは世界遺産の宝庫、たくさんの感動があなたを待っています。

② 多くのトルコ・ツアーは大人数が当たり前ですが、たびせんでは12名様限定。一般家庭を訪問しトルコの生活をのぞいたり、厳選したレストランでの食事、文化を知る上で重要と考え絨毯工房にご案内しますが、その他のショッピングにはご案内しないなど、こだわりの旅が可能。

③ カッパドキアでは雰囲気のある洞窟ホテルに宿泊。他都市は全て五つ星ホテル。カッパドキアとイスタンブールでは2連泊。

旅行日程	2026年 5月26日(火)～6月4日(木)
旅行代金	423,000円(成田空港発着基準) ※一人部屋追加代金(90,000円)、諸税別 燃油サーチャージはかかりません。
定員	12名様(最少催行8名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	2026年3月27日(金)

旅行日程

- ① 深夜成田発、カタール航空にてドーハ経由でトルコの首都アンカラへ【機中】
- ② 正午頃、アンカラ到着、カッパドキアへ(約4時間) 日本語ガイドが全日程同行【カッパドキア】
- ③ カッパドキアの不思議な光景を終日ご案内。トルコ絨毯店にご案内【カッパドキア】
- ④ カッパドキア観光後、民家訪問&交流。コンヤへ移動(約4時間)【コンヤ】
- ⑤ コンヤ観光後、バムツカレへ(約4時間半)。バムツカレ観光。温泉ホテル泊【バムツカレ】
- ⑥ エフェソスへ(約3時間半) エフェソス遺跡観光。エーゲ海の町・アイワルクへ(約4時間)【アイワルク】
- ⑦ トロイへ(約3時間) トロイ遺跡観光後、イスタンブールへ(約5時間)【イスタンブール】
- ⑧ イスタンブール観光(ボスポラス海峡クルーズ、ブルーモスクなど) ベリーダンスディナーショー【イスタンブール】
- ⑨ イスタンブール観光(トプカプ宮殿など) 夜、カタール航空にてドーハ経由で帰国の途へ【機中】
- ⑩ 夕方、成田空港着

■利用予定航空会社:カタール航空 ■利用予定ホテル:下記又は同等クラス:
ウチヒサルカヤ(カッパドキア)、デデマン(コンヤ)、コロッセアサマル(バムツカレ)、グランドテミセル(アイワルク)、エレスントプカプ(イスタンブール)
■食事:朝7昼7夕7

バルカン専門家全日程添乗同行 安全・安心&自由なクロアチア

8日間



ドブロブニク

旅行日程

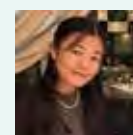
- ① 6/11 午後9時25分成田空港発、イスタンブール乗り継ぎ【機中】
- ② 6/12 クロアチアの首都ザグレブ着。ザグレブ市内観光【ザグレブ】
- ③ 6/13 世界遺産のプリトヴィツェ国立公園、午後スプリットへ移動。【スプリット】
- ④ 6/14 世界遺産のスプリット観光。【スプリット】
- ⑤ 6/15 フェリーで「アドリア海の真珠」と称されるドブロブニクへ。着後ドブロブニクを散策。【ドブロブニク】
- ⑥ 6/16 世界遺産のドブロブニク旧市街観光。【ドブロブニク】
- ⑦ 6/17 9時15分、ドブロブニク発、トルコ航空で帰国の途に【機中】
- ⑧ 6/18 8時55分成田着予定

■利用予定航空会社:トルコ航空
■利用予定ホテル:下記又は同等クラス ザグレブ:キャノピーバイヒルトン、スプリット:ジュピター、ドブロブニク:ラパッド
■食事:朝5、昼と夜は料金各自(専門家のアドバイスでお好みの食事)

旅行日程	2026年6月11日(木)～18日(木)
旅行代金	499,800円(成田空港発着基準) ※燃油・空港諸税、一人部屋代金別途
定員	15名様(最少催行人員:10名様)
添乗員	同行いたします
申込締切	5月1日(金)



プリトヴィツェ



路線バスやフェリー、徒歩移動。少しでも自身で移動することで、クロアチアの絶景と街歩きを満喫!旅の達成感もひとしお。レストランは気分次第で選び、その時の出会いや空気を楽しむ「アドリブの旅」。現地の人のように暮らし、味わい、感じるリアルな旅を体験。バルカン半島専門店のスタッフが同行するので、初めてでも安心。自由さと安心感が両立した、ワクワクいっぱいのクロアチアの旅にご一緒しませんか。

普通の顔のイタリア人

北イタリア在住
藤井 彩子(左側)



イタリアに住んで 25 年。今は北イタリアの湖水地方の町に暮らしています。イタリア人の夫と 14 歳の息子の3人家族。ローマ、フィレンツェ、ミラノなど有名な観光地とは違う「普通の顔」のイタリアで暮らす「普通」のイタリア人。その一端をご紹介します。

イタリア人は働かない(?)

イタリアの仕事と言えば観光業、飲食業、またはワインに関係する仕事を思い浮かべるかもしれません。けれどレッコ近辺では鉄鋼・機械系の中小企業が多くあります。私自身も日系の機械製造業の会社に勤めていますが、その社員は大半がイタリア人。実はみんなとても働き者です。ただし必要ときは残業もしますが、基本的には勤務時間内に集中して働き、終業後はすぐに退社。イタリア人の多くは仕事のあとは家族、友人との時間を大切にするためか、日本と違い同僚と会社帰りに飲みに行くことはほとんどありません。

カフェタイムが大事

ではどうやって同僚とコミュニケーションを取るのでしょうか。カフェタイムです。イタリア人はエスプレッソコーヒーが大好き。朝オフィスに到着し、仕事の準備をしたらまずは「カフェはどう?」と声を掛け合い、廊下にあるエスプレッソコーヒーの自動販売機に集まります。紙コップでさほど美味しくもないカッ

フェを飲みつつ、昨日のサッカーの試合結果や子どもの学校の話などの世間話からもちろん仕事の話やオフィス内では話しにくい上司や同僚に対する辛辣なコメントになることも。1回10分にも満たない休憩ですが、ミーティングのあと、お昼のあと等、一日に何度もみんなのカフェを飲みながら話すのです。電話やメールではなく、顔を突き合わせてお互いの距離を縮める良い機会になっています。

ピッツァ大好きなイタリア人

どのくらい好きかと言えば、私の夫は「毎日食べても良い!」と言い切ります。私が眉をひそめるのを見て、あわてて「毎日が多すぎるね。じゃあ週に一度で良いよ」。週に一度でも十分頻繁ではないかと思うものの、わが家でも週に一度は必ず職人手づくりの持ち帰りピッツァが夕食に登場します。

イタリア人がピッツェリアで決してやらないことは何でしょうか?それはピッツァをシェアすることです。大人数だから複数のピッツァを頼んで、みんなで分けて食べようとはなりません。各々が自分用のピッツァを注文して食べるのです。そして飲み物はワインではなくビール!次回イタリアにいらっしゃったら、ぜひピッツェリアで食べているイタリア人を観察してみてください!観光地では見られない、普通のイタリア人に出会えるかも。

こんな旅はいかがですか?

ミラノ&コモ湖をめぐる北イタリア 6泊8日 ①東京・大阪から経便または直行便でミラノへ ②ミラノ観光:ドゥオーモ、ガレリア、最後の晚餐、スフォルツェスコ城など ③ミラノから列車でレッコへ(1時間)レッコの美しい湖岸を散策 ④フェリーでコモ湖岸の街めぐり:優雅な庭園と別荘のあるベルラツォとヴァレンナを散策 ⑤列車でコモ市内へ。コモ大聖堂やヴィラ・オルモを観光 ⑥コモから列車でミラノへ(40分) ⑦ミラノから国際線に搭乗 ⑧東京・大阪に到着

個人旅行にもグループ旅にも! ご希望に合わせてお見積りします!

人混みを避けてゆったりと過ごしたい、もっと古代遺跡の観光をしたい、農村で過ごしたいなど、お1人お1人のご希望に合わせて、別の島への提案&見積りも可。詳細はお問合せください。

アテネ発着 ミコノス・サントリーニ 6泊7日

エーゲ海でゆったり過ごす「のんびり島旅」。青と白の絶景とロマンチックな夕日、迷路状の石畳の街と隠れたビーチ、そして古代文明の歴史に触れる6泊の個人旅行プラン。移動も観光も自分のペースで楽しめる、心ほどける島めぐりの旅です。

2026年4月~11月 毎日出発
スーペリアホテル
¥338,000~¥488,000
スタンダードホテル
¥248,000~¥268,000
(2名1室の場合のお1人様料金)
※日本発着国際線料金および付随する空港税・燃油サーチャージ等は別になります。

①昼:国際線でギリシャの首都アテネへ到着。日本語アシスタントが空港へお出迎えし、アテネ市内をご案内。アクロポリス遺跡とアテネ博物館の観光。【アテネ】②フェリーでミコノス島へ向け出発。白い迷路と風車の町並みをの

んびり散策。【ミコノス】③ミコノス島。世界遺産デロス島への日帰り観光も。【ミコノス】④高速艇でミコノス島からサントリーニ島へ。断崖から見るエーゲ海の夕陽は絶景。【サントリーニ泊】⑤サントリーニ島。島をのんびり散策。【サントリーニ】⑥サントリーニ滞在後、国内線でアテネ空港へ。【アテネ空港ホテル泊】⑦アテネ空港にて日本語アシスタントがチェックインをお手伝い。日本へ向け出発

《左記旅行代金に含むもの》

- ・ホテル6泊(朝食付・2名1室)
- ・航路2区間(フェリーまたは高速船)
- ・ギリシャ国内線1区間
- ・送迎7回(アシスタント含みます)
- ・現地での旅程管理費、企画手配料
- ・アテネ市内の日本語エスコートとのプライベート徒歩ツアー(4時間)

《ホテルについて》

スーペリアは各地5つ星ホテル(サントリーニ島は断崖上テラスホテル)

利用、スタンダードは各地3・4つ星ホテルを利用します。

《国際線について》

ギリシャまでは直行便がないため、中東経由の航空会社またはトルコ航空などを利用します。



アテネ発着 エーゲ海4泊クルーズとアテネ観光 7日間の旅

ギリシャの美しい島々をセレスティアルクルーズの船でめぐるプランです。3泊、4泊、7泊クルーズを毎週運航しており、中でも4泊クルーズは手軽にエーゲ海旅行を楽しめるプランで人気があります。お1人様でも参加しやすいのが魅力です。

2026年4月~11月
毎週日曜アテネ出発
旅行代金
¥280,000~¥470,000
※上記は外側船室、アテネの4つ星ホテル利用(2名1室)のお1人様料金です。
※日本発着国際線料金および付随する空港税・燃油サーチャージ等は別になります。

①昼:国際線でギリシャの首都アテネ

へ到着。日本語アシスタントが空港へお出迎え。現地の日本人がアテネ市内をご案内。涼しくなってから世界遺産のアクロポリス遺跡へ。【アテネ】②クルーズに乗船、夕方ミコノス島へ寄港。【船内】③午前:トルコのクシャダスへ寄港。世界遺産エフェソス遺跡など。午後:ギリシャのパトモス島に寄港。【船内】④中世騎士団の島ロドス島へ寄港。【船内】⑤午前:ギリシャ最大の島クレタ島へ寄港。クノッソス宮殿など。午後:夕景が美しい火山島サントリーニに寄港。【船内】⑥早朝アテネのラヴリオへ帰港、朝食後下船。以降はフリー【アテネ】⑦アテネ空港にて日本語アシスタントがチェックインをお手伝い。日本へ向け出発

《左記旅行代金に含むもの》

・アテネ:セントラルホテルもしくは同

- 等クラス2泊(朝食付・2名1室)
- ・セレスティアル4泊クルーズ(外側ベシック船室利用)
- ・船内での全食事、ソフトドリンク、船内アクティビティ、Wi-fi利用、港湾税
- ・空港・港⇄ホテル間送迎4回(アテネでの専用日本語アシスタント)
- ・アテネ市内の日本語エスコートとのプライベート徒歩ツアー(4時間)
- ・現地での旅程管理費、弊社企画手配料
- ※各島やアテネでの寄港地ツアーおよび入場料は含まれません。



安斎育郎さん 震災・原発事故15年目の福島で考える 「福島と能登、原発の未来」

3日間



津波で破壊された熊川公民館（大熊町）

- ①巨大地震に見舞われた福島と能登、原発のそのときとこれから
近い将来、巨大地震の発生も予想される日本。一方で政府は「既設原発の最大限活用」や新設など、「原発回帰」に舵を切りました。地震大国日本の原発の未来について、安斎さん、児玉さん、池田さんが討論します。
- ②事故原発から3*の被災現場で考える、エネルギーと私たちの生活
津波で父と妻、次女が行方不明となった大熊町の木村紀夫さん。震災当日の夜、自宅跡に駆け付け家族を探しましたが、原発事故で捜索を中断して、やむなく避難。次女汐風（ゆうな）さんの遺骨の一部が発見されたのは5年9か月後でした。
- ③「非核の火」平和式典に参加
上野東照宮から2021年に福島・楡葉町の宝鏡寺に移設された「広島・長崎の火」は、「非核の火」として核兵器も原発もなくす象徴に。3月11日の平和式典に参加します。（宝鏡寺は改修工事のため、場所は未定）

◆安斎さん、児玉一八さん（理学ジャーナリスト、核・エネルギー問題情報センター理事）
池田香代子さん（翻訳家）
によるシンポジウム
◆事故原発立地の熊川町で
フィールドワーク



旅行日程 2026年3月11日（水）～13日（金）
旅行代金 71,000円（いわき駅集合・解散）
お部屋は2泊ともシングル
定員 40名様（最少催行：20名様）
添乗員 同行いたします
申込締切 2月20日（金）

旅行日程

- ①3/11 いわき駅集合。平和式典に参加 【富岡】
- ②3/12 大熊町の中間貯蔵施設を含む帰還困難区域内のフィールドワーク。震災・原発事故、津波犠牲者遺族の講演【いわき】
- ③3/13 「福島と能登、原発の未来」、安斎さん、児玉一八さん（理学ジャーナリスト）、池田香代子さん（翻訳家）によるシンポジウム。いわき駅解散
■利用ホテル：ホテル蓬人館（富岡）、ルートインいわき駅前（いわき）
■利用バス会社：ブルー観光
■食事：朝2昼2夕2

映画『黒川の女たち』の松原監督と行く 信州で考える戦争の被害と加害

4日間

●黒川乙女の碑と碑文 ●満蒙開拓平和記念館
●旧陸軍伊那飛行場 ●無言館 ●松代大本営

旅行日程 2026年5月15日（金）～18日（月）
旅行代金 118,000円（名古屋駅集合・長野駅解散）
※一人部屋追加料金15,000円
定員 30名様
（最少催行人数：20名様）
添乗員 同行いたします
申込締切 4月10日（金）



- ①「なかったことにはできない」黒川開拓団の真実
戦前、旧満州に入植した黒川開拓団。乙女の碑の碑文建立に尽力した黒川開拓団遺族会・藤井会長のお話を聴きます。当時18歳以上の団員未婚女性を襲った悲劇。「なかったことにはできない」歴史の真実に迫ります。
- ②信州で戦争の被害と加害を考えます
両親が開拓団員として渡満した、満蒙開拓平和記念館の寺沢館長。戦没画学生、絵画館・無言館。多くの朝鮮人労働者が動員され完成までの時間稼ぎに捨て石とされた沖縄地上戦では20万人が犠牲となった松代大本営も見学。
- ③温泉宿で旅の疲れを癒し、郷土料理に舌鼓
日本一星空がきれいな村とされる阿智の屋神温泉・美肌の湯。信州最古の別所温泉・美人の湯。どちらも天然のアンチエイジング効果抜群の湯です。地元の食材にこだわったお食事、旅の楽しさも倍増です。

- ①5/15 名古屋駅集合で岐阜県の旧黒川村（現白川村）に。黒川開拓団遺族会・藤井会長のお話【屋神温泉】
- ②5/16 寺沢館長の案内で満蒙開拓平和記念館【伊那】
- ③5/17 旧陸軍伊那飛行場跡。無言館【別所温泉】
- ④5/18 松代大本営。長野駅解散
■利用宿泊施設：鶴巻荘（屋神温泉）、ホテルルートインコート伊那（伊那）、上松や（別所温泉）
■利用バス会社：信南交通
■食事：朝3昼3夕2

旅行日程

アイヌの歴史・文化と知床の大自然にふれる 北海道！ 平取・斜里町ウトロ・網走

4日間



旅行日程 2026年7月12日（日）～15日（水）
旅行代金 215,000円（羽田空港発着基準）
一人部屋追加料金9,000円
定員 20名様（最少催行：10名様）
添乗員 同行いたします
申込締切 5月8日（金）



アイヌ文化博物館



知床の観光船

- ①今も続く、盗掘されたアイヌの遺骨返還問題
近代以降、北大や東大など12大学が、盗掘したアイヌの遺骨1574柱を保管。このうち1320余柱が慰霊施設等に移されましたが、遺族の元に戻ったのはごくわずか。遺骨は豪族英米など海外にも。和人から耐え難い差別や搾取をされ続けたアイヌの歴史を知り、その文化にふれる旅。
- ②知床世界遺産クルーズとフレベの滝トレッキング
雄大な風景、鮭を追う熊、群れをなすイルカなど、大型観光船で安心・安全に知床岬まで往復クルーズ。ゆったりと、名所や不意に現れる動物にもシャッターチャンスはばっちり。断崖から流れ落ちるフレベの滝まで往復2*の、高低差が少なく歩きやすい遊歩道をのんびり散歩。
- ③大自然に抱かれたホテルで、露天風呂と海山の幸満喫
夕日のビューポイント、斜里町ウトロの海を臨む高台のホテルに連泊。海と山の絶景一望の露天風呂に癒され、知床の味覚満載のバイキングに舌鼓です。

旅行日程

- ①7/12 羽田から新千歳空港を経て平取へ。納骨堂、アイヌ文化博物館【千歳】
- ②7/13 新千歳から女満別空港へ。フレベの滝トレッキング【ウトロ】
- ③7/14 大型観光船で知床クルージング【ウトロ】
- ④7/15 網走に移動し、オホーツク流水館、博物館網走監獄、80ヘクタールのひまわり畑鑑賞、羽田へ
■利用航空会社：全日空
■利用ホテル：ホテルルートイン千歳駅前（千歳）、ホテル知床（ウトロ）
■食事：朝3昼2夕3

故郷から奪われたアイヌの遺骨 今も魂の叫びが聞こえる

平取「アイヌ遺骨」
を考える会
山下明美

「その昔、この広い北海道は私たちの先祖の自由の天地でした」。これはアイヌの少女知里幸恵さんが100年ほど前に書かれた『アイヌ神謡集』の序文の一文です。この本は今もなお多くのの人に愛され読まれています。

今も昔も北海道（アイヌモシリ：人間の大地）は魅力に満ちています。ここ北海道日高山脈の麓に流れるシリムカ（沙流川）に生きる人々も、この自由の天地を謳歌していたことでしょう。

平取に入ると「伝説の義経神社」と呼ばれている神社がお迎えします。大きな門をくぐり108段の階段を上がると境内に故ペンリウ翁の顕徳碑があります。

「故ペンリウ翁は気骨稜々智略にとみ、十勝の同族を征服し、その名遠近に轟き、大いに衆望をあつめ、亦良く地方の同族を統率して愛撫を加え、文字の学ぶべきを説き、学校を設

立して子弟の就学を勤む、一略一ここに碑をたて、よって記念とし、長きに英魂を慰めんと欲す」。昭和9年建立。ペンリウ翁は平取のコタン（村）をまとめるため尽力されたようです。

明治36年に亡くなり、30年後（昭和8年）に遺骨が掘り返されました。『北海道大学医学部アイヌ人骨収蔵経緯に関する調査報告書』に書かれています。

アイヌ遺骨は学問の名のもとに、多くが盗掘により、北大の資料室（のちにアイヌ納骨堂と看板をかけられた）に納められていました。北海道全域からなんと1000体以上。その遺族等が返還を要求していますが、残された遺骨は2022年開設のウポポイ（アイヌ民族象徴空間）アイヌ納骨堂に収められています。

一方で平取町二風谷の麓に静かに佇んでいるのは、平取アイヌ遺骨納骨堂です。長い年月をかけてなお解決の

糸口が見つかからないペンリウ翁を含む遺骨34体のアイヌ遺骨が納められています。北大の資料室に無造作に置かれていたアイヌ遺骨は、返還運動を経て、ここまで帰ってきたのです。しかし、今もペンリウ翁の遺骨であるという確証がないという理由で、故郷の土へ返すことができないでいます。ペンリウ翁の魂の叫びが聞こえてきます。

私たちの返還運動は道半ばです。

アイヌネノアンアイヌ（人間らしい人間になる）。

言葉を大切にし、自然を敬い、自然との共生ができる人、それがアイヌです。



ペンリウ翁顕徳碑の前で説明する山下さん

旅に出かけて 八丈島を応援しよう! 八丈島ふれあい旅 4日間

"八丈島におじゃってたもーれよー"

(八丈島にいらっしやい)

川瀬 喜重子



八丈島のキャッチフレーズは「花と緑と温泉の島」。

都会では観賞用として売られているような花が、さり気なく道端に咲いていたりします。特に春の山々を覆う大島桜と木々の新芽のグラデーションは雄大な自然の美を感じます。

そして、どこまでも広がる太平洋を眺めながら、落ちゆく夕日を見たり、温泉に浸ることは、まさに至福の味わいです。

そんな大自然に育てられた島人は、生活の知恵や工夫をしながら、穏やかに、お互いに助け合って生きてきました。

そこに 50 年ぶりに襲った昨年の強烈な台風は、島中のインフラの損壊、供給の停止など、激甚災害の指定を受けるに至った大災害でした。

八丈島を代表する民謡「ショメ節」の一節に「イヤー、沖で見た時、鬼島と見たが、来てみりゃ八丈は情島」というのがあります。

土石流にのまれながらも、怪我人や死者を一人も出さなかった奇跡の事実、日ごろの助け合いの精神が発揮されたことであり、私たちの誇りです。

島は、全国からの物心両面にわたる大きな支援や技術者の献身的な作業などによって修復が進められ、島人も元気づけられて、立ち直ろうと頑張っています。

皆様の支援に応えるためにも、島人自慢の「情」を以て八丈島を訪れる方々をお迎えしたいと思います。

まったーろーんてよー
(待ってますよー)



大坂トンネルの展望
(一般社団法人八丈島観光協会)



婦人会の皆さん

旅行日程

- ①正午頃、羽田発八丈島へ。午後、島内観光(ふれあい牧場、南原千畳岩海岸など)【そこだ荘】
 - ②終日島内観光(大坂トンネル展望、服部屋敷、黄八丈染元、みはらしの湯入浴など)【そこだ荘】
 - ③地元婦人会と島ずし作りで交流。加茂川会のみなさんと交流【そこだ荘】
 - ④黄八丈を使ったアクセサリー作り体験。午後、羽田へ※現地の復興状況により、ご案内出来ない施設、観光箇所もございます。
- 食事:朝3、昼3、夕3
■利用予定宿泊施設:そこだ荘
※一人部屋は追加料金4,000円(ご希望に添えない場合がございます)
■利用予定バス:八丈島町営バス

◆八丈島在住の弊社お客さん・川瀬喜重子さん全面協力。観光だけじゃない八丈島を伝えたい!

八丈島の魅力をより多くの方に知ってほしいと、多彩なプログラムでおもてなし。地元の方々と郷土料理の島ずし作り体験は毎回大好評。甚大な台風被害を受けた八丈島応援ツアー。

◆都心から一番近い南国・八丈島へ「おじゃりやれ」(いらっしやい)

羽田空港からたったの 55 分で別世界へ。どこまでも広がる海と空、2つの火山が生み出した絶景と温泉、満天の星空、黄八丈、八丈太鼓、海の幸と島酒...島の自慢は枚挙に暇がない。魅力たっぷりの八丈島に是非お出かけください。

◆お泊りは地元の方お勤め、あたたかいおもてなしと料理が評判の民宿

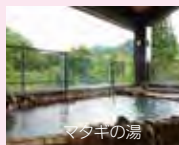
部屋の定員が異なったり、お風呂は順番に利用したりと、ホテルのような便利さはないけれど、まるで田舎に帰ってきたような居心地。ご家族やお友達とたっぷりおしゃべり、初めて同室になった方ともすぐに仲良くなっちゃう、そんなアットホームな宿に3連泊。

白神山地

ハイキングと マタギ文化に触れる旅

4日間

- 旅行日程 2026年5月26日(火)~5月29日(金)
旅行代金 98,000円(新青森駅集合、角館駅解散)
定員 15名様(最少催行人員:10名様)
添乗員 同行します
申込締切 2月27日(金)



マタギの湯



白神山地・青池

旅行日程

- ①5/26 13:30頃、新青森駅集合、列車又は専用車にて宿へ【深浦】②5/27 終日、ハイキングガイドの案内で白神山地ハイキング(約4時間)【深浦】③5/28 午前、十二湖駅から五能線、奥羽本線、秋田内陸線を乗継ぎ、阿仁マタギ駅。現役マタギの案内でマタギ資料館見学。【打当温泉】④5/29 午前、阿仁マタギ駅から秋田内陸線にて角館駅、着後解散
■利用予定宿泊施設:アオーネ白神十二湖(深浦)、マタギの湯(打当温泉)※深浦は4~6名部屋、打当温泉は4名部屋 ■利用予定バス:三八五バス ■食事:朝3昼2夕3

- ①ハイキングガイドの案内で、青葉かおるブナ原生林の中、大小さまざまな湖沼群をめぐります。初心者でも歩きやすいコースです。
- ②秘境の宿・マタギの湯では、現役のマタギから自然との共生、命の尊さを学びます。
- ③一度は乗りたい五能線をはじめ、人気のローカル線に乗車。のどかな旅が毎回大好評!

東日本大震災から 15年の東北を訪ねる みちのく人情・癒し旅 3日間

おいでやんせ! 八戸

八戸沖繩の会会長
一山 鈴夫



私たちが八戸を案内します

東北地方最北端の県、三方海に面し、太平洋側に位置、人口 22 万人。夏は涼しく、国宝が三つ、国立公園、大規模漁港、日本最大級の朝市もある、県内二番目の人口を有する地方都市です。

八戸の自慢は、たくさんありますが、中でも有名なものは、是川縄文館に座す、三千五百年前のいろいろな祈りを感じさせる縄文時代の合掌土偶。文学者や芸術家が散策したり、映画の舞台にもなった三陸復興国立公園指定の名勝種差海岸。作家の司馬遼太郎は「宇宙から来訪者があったら一番

先に案内したい海岸」と表現しております。そして、館鼻(たてはな)岸壁朝市は毎週日曜日開催。午前六時には歩くのに困難なほどの人波になります。八百メートルにわたって三百以上の出店。毎週数万人が足を運ぶ、日本で一番盛り上がりしている八戸の朝市が楽しめます。

「八戸沖繩の会」という会の名前ですが、沖縄出身者はありません。県内に米軍基地を持つ同じ立場として、長く沖縄を応援してきました。旅という形でも沖縄旅行に 17 回視察、交流を深めてきました。ま

た、海外旅行では、台湾、ベトナム、ポーランド、韓国などにも出かけ、学んできました。

たびせんさんのみちのくの旅の皆さまをお迎えするのを毎回心待ちにしております。夕食しながら語らいや歌で交流。会員の中では川縄文館のボランティアガイドをしていた人、種差海岸のガイドの人もあり、私たちも楽しく案内させていただいております。

遠くの友人を訪ねる感じて気軽においで下さい。大歓迎です!

- 旅行日程 2026年
7月3日(金)~5日(日)
旅行代金 78,000円
(釜石駅集合、八戸駅解散)
定員 15名様(最少催行人員:10名様)
添乗員 同行します
申込締切 5月1日(金)



宝来館元女将



合掌土偶

旅行日程

- ①7/3 14時頃、釜石駅集合、鴨住居駅。宿では元女将の震災時のお話【釜石】
②7/4 鴨住居駅(三陸鉄道)宮古駅(奥津土ヶ浜観光)宮古駅(三陸鉄道)久慈駅(本八戸駅【八戸】
③7/5 八戸沖繩の会のおもてなしプログラム。午前、ホテル発館鼻岸壁朝市(無島神社)華毛崎展望台。ここから種差海岸まで、みちのく潮風トレイル歩き(約3時間)是川縄文館(15:30頃、八戸駅解散)
■利用予定ホテル:宝来館(釜石)、八戸プラザホテル(八戸)又は各都市同等クラス※釜石は4名部屋、八戸は2名部屋
■利用予定バス:三八五バス又は同等クラス(7/5のみ利用)
■食事:朝1昼2夕2



みちのく潮風トレイル

- ①八戸沖繩の会の方々によるふるさと自慢にあふれたあたたかいおもてなし
基地を持つという同じ立場から沖縄を支援し続けている八戸沖繩の会。ふるさと大好きな方々が心を込めて案内してまいります。
- ②釜石の宿・宝来館では、元女将から震災当時のお話
宝来館は東日本大震災の津波で2階まで浸水、元女将自身も流され、九死に一生を得た。その日、「生きること」をもらったという元女将が経験・教訓・希望などを語ります。
- ③東日本大震災からの復興のシンボル「みちのく潮風トレイル」
地元ガイドの案内で変化に富んだ景色と可憐な花々を楽しみながら歩きます。起伏が少ないので初心者でも安心して歩いていただけます。

島村輝さん(フェリス女学院大教授)同行 文学と音楽の宮沢賢治 花巻・紫波・釜石・大槌 3日間



釜石桜

●賢治作品の背景にある音楽にふれる旅

自ら楽器を演奏し、当時の最先端をいくクラシックレコードのコレクターでもあった宮沢賢治。賢治作品のインスピレーションの根源には音楽があったとも言われます。プロレタリア文学研究者であると同時に宮沢賢治研究論文も数多く執筆し、一流の音楽家(ピアノ、ギター)でもある島村輝さんが、賢治の文学と音楽をひも解き、自ら演奏も披露されます。

●春爛漫の東北を満喫する旅

ときはまさに春真っ盛りの東北・岩手。桜の名所・花巻温泉では、500本以上植樹された八重桜やしだれ桜などが見頃を迎えます。市内のあちこちに桜の名所を有する釜石市でも、満開の桜がお出迎えます(そのときの気象条件によります)。

●旅の疲れを癒す宿で、リラックス&リフレッシュ

季節の旬を楽しめる紅葉館では、人気の露天風呂と郷土の味をとことん堪能する夕食に舌鼓。松林越しに大槌湾とその先に広がる太平洋が一望できる宝来館では、新鮮魚介の料理はもちろん、三陸の地酒やクラフトビールを含むドリンクのサービス、岩崎昭子元女将(現顧問)の震災講話も。

旅行日程 2026年**4月15日(水)～17日(金)**

旅行代金 **91,000円**(新花巻駅集合・解散)

*お部屋は3～4名様の相部屋基準

*お一人部屋追加料金:16,000円

定員 **30名様**(最少催行:15名様)

添乗員 同行いたします

申込締切 **3月13日(金)**



紅葉館露天風呂



賢治詩碑鳴弓への嫉妬

旅行日程

①4/15 新花巻駅集合。宮沢賢治記念館を見学し、「山猫軒」で昼食【花巻温泉・紅葉館】

②4/16 野村胡堂・あらえびす記念館、早池峰と賢治の展示館【宝来館】

③4/17 大槌各地の賢治詩碑、蓬萊島・三貫島(ひょっこりひょうたん島のモデル)、鉄の歴史館(駐車場にはひょっこりひょうたん島歌碑)、新花巻駅で解散

■利用ホテル:ホテル紅葉館(花巻)、宝来館(釜石)

■利用バス会社:西北交通

■食事:朝2昼3夕2

大曲の花火と鬼剣舞 東北の夏満喫 3日間



旅行日程 2026年**8月29日(金)～31日(日)**

旅行代金 **91,000円**

(北上駅集合、新花巻駅解散)

*宿は和室相部屋、
二人部屋追加料金10,000円

定員 **23名様**(最少催行:15名様)

添乗員 同行いたします

申込締切 **8月4日(火)**

◀全国花火競技大会写真
(2019.08.31.93回大会提供)

旅行日程
①8/29 13:00北上駅西口集合、鬼の館見学、郷土芸能・鬼剣舞鑑賞【吉野屋】
②8/30 昼食後会場着、昼花火の部開幕、夕食は各自、夜花火の部【吉野屋】
③8/31 宮沢賢治記念館見学、昼食、14時頃新花巻駅解散

■利用宿泊施設:吉野屋(西和賀)又は同等クラス

■利用バス会社:西北交通又は同等クラス

■食事:朝2昼2夕1

①日本三大花火の「最高峰」、大曲の「全国花火競技大会」をテーブル・イスの観覧席でゆったり鑑賞

会場の中心部分、視界いっぱいには花火が広がるテーブル・イスの特等席で観覧。日本屈指の煙火(はなび)店が粋を集めた打ち上げ花火1万8千発。フィナーレは全長500m、音楽に合わせて5～7分もの壮大な打ち上げ。花火の街大曲が誇る圧巻の光景をゆったりとご堪能ください。

②東北を代表する民俗芸能「鬼剣舞」鑑賞と宮沢賢治記念館。文化・芸能の楽しみもたっぷり

宮沢賢治の作品にもたびたび登場する鬼剣舞。東北を代表する芸能「鬼剣舞」発祥の地が北上市。旅の最初は北上市の「鬼の館」見学と西和賀町で鬼剣舞の特別公演。1300年以上の歴史があり、山伏などが五穀豊穡を願って踊った念仏踊りが始まりとされる鬼剣舞をたっぷり。旅の最後は花巻の宮沢賢治記念館で、賢治の世界に触れてみませんか。

観光 ブームの宮古島

いま、自然豊かなこの小さな島で 起きている大きな問題

軍事要塞化だけではない。観光バブルの陰で揺れる宮古島の現実。

宮古島—沖縄の離島の中でも特に観光地として人気急上昇している場所である。美しいビーチ、エメラルドグリーンの海、温暖な気候が旅行者を惹きつけ、ここ数年で観光客数は爆発的に増加している。しかし、その観光バブルの影響で、地元民の暮らしはどうなっているのか？

地域経済の成長は、必ずしも地元の人々にとって良いことばかりではない。

本土からの移住者が投資目的で土地を購入し、地元民の住居が減少。10年前は5万円程度で借りられたアパートが、今では10万円超えに。特にシングル向けやファミリー向けの賃貸物件が不足。宮古島の観光ブームで地元経済は潤っているはずだが、その恩恵を受けているのは地元の中小企業よりも、大手資本や本土資本が利益を独占。宮古島出身の個人経営者よりも、外部資本の企業が観光ビジネスを支配。観光収入はあるが、地域経済に還元されにくく外資系の利益は、本土や海外に



流出。地元の若者の雇用は低賃金の接客業中心で、安定した職にはなりにくい。

観光によって経済成長しているように見えても、地元の人々の生活はむしろ厳しくなっているという矛盾が発生している。

絶景と島時間を堪能 5島めぐり

基地に頼らない宮古満喫

4日間

旅行日程 2026年**7月7日(火)～10日(金)**

旅行代金 **179,000円**(羽田空港発着)

174,000円(関西空港発着)

*一人部屋追加料金別途

定員 **28名様**(最少催行人員:17名様)

添乗員 同行します

申込締切 **5月4日(月)**

①ミサイルと監視レーダー基地、実弾演習場に囲まれた宮古島

宮古ブルーと呼ばれる絶景の宮古島。次々と建設されるレーダー基地とミサイル部隊の駐屯基地、二つの基地にはさまれる野原(のぼる)集落。自衛隊弾薬庫が建設された保良(ぼら)演習場では、集落の数百メートル先で実弾演習。粘り強く反対運動を続ける住民の方の案内で宮古島の現実を訪ねます。

②宮古島を含む5島をゆっくりとめぐる

宮古島周辺には神様の住む島「大神島」、自然豊かな「池間島」、宮古ブルーがきれいな「伊良部島」、美しい自然と豊かな文化が魅力の「来間島」があります。この4島を4日間かけゆっくりとめぐる宮古島が大切にしている文化や自然、海、歴史を堪能。

旅行日程

①7/7 午前:羽田/関西から飛行機で宮古空港へ→宮古島の軍事要塞化を見学【宮古】

②7/8 午前:池間島見学。午後:大神島ガイドによる案内で見学。夕食は各自【宮古】

③7/9 午前:来間島の戦跡見学。午後・伊良部大橋を渡り下地島空港など見学。夕食は地元の方が経営している居酒屋で夕食交流。【宮古】

④7/10 午前保良演習場見学。午後昼過ぎの便で宮古空港から各地の空港へ

■利用予定ホテル:アトールエメラルド宮古島又は同等クラス

■利用航空会社:全日空又は日本航空

■利用バス会社:AZリゾートサービス又は同等クラス

■食事:朝3、昼2、夕2



いまこそ継承しよう！沖縄戦の記憶 沖縄のこころ 過去と現在の沖縄を識る 4日間

平和・人権施設 8 館めぐりと
島うたで読み解く沖縄の

「戦さ世（いくさゆ）」



沖縄県平和祈念資料館



不屈館

旅行日程 2026年7月2日(木)～5日(日)
旅行代金 183,000円(羽田空港発着基準)
※一人部屋追加代金15,000円
定員 20名様(最少催行:10名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 4月24日(金)

◆沖縄から拓げる平和のこころ

沖縄戦の記憶と平和を希求する「沖縄のこころ」を、私たちはどう語り、どう伝えていくのか。連携して平和を発信する取り組みを始めた沖縄県内の8つの平和関連施設を訪問。沖縄の問題を「自分事」として考え、継承していく旅。

◆「沖縄・平和と人権博物館ネットワーク」の8館

①佐喜眞美術館:沖縄戦の記憶と平和への祈りをアートで、②ヌチドゥタカラの家:戦前・戦後の伊江島土地闘争の資料館、③沖縄愛楽園交流会館:ハンセン病と向き合った人々の歴史、④ひめゆり平和祈念資料館:生徒たちの視点で戦場の実相を伝える、⑤沖縄県平和祈念資料館:戦後から現在までの歴史から未来を、⑥南風原文化センター:地域の視点から戦前・戦後の歴史を、⑦対馬丸記念館:学童疎開船「対馬丸」撃沈事件を伝える、⑧不屈館:瀬永亀次郎と民衆の歩み。

◆伊江島闘争を励ました島うた

米軍の「銃剣とブルドーザー」で土地を奪われた伊江島の人々が、たかひのなかで唄った「陳情口説(ちんじょうくどうち)」にふれる旅。

旅行日程

- ①7/2 那覇到着後、佐喜眞美術館へ【名護】
- ②7/3 フェリーで伊江島に渡りヌチドゥタカラの家。名護に戻り沖縄愛楽園交流会館へ【那覇】
- ③7/4 午前中:ひめゆり平和祈念資料館、午後:沖縄県平和祈念資料館、南風原文化センター【那覇】
- ④7/5 対馬丸記念館、不屈館、那覇空港から羽田へ

- 利用航空会社:全日空
- 利用ホテル:グリーンリッチホテル沖縄名護(名護)、ホテル・ナハナ&スパ(那覇)
- 利用バス会社:中央交通
- 食事:朝3昼3夕2

連携する平和資料館 ——— 過去と現在の沖縄を識る

山本 邦彦(『観光コースでない沖縄』編集者)

沖縄県内には公営、民営を問わず、沖縄戦と戦後沖縄が歩んだ歴史に焦点をあてて平和や人権に関する展示や企画をおこなっている資料館、博物館、美術館など文化施設が数多くあります。戦争体験者の証言を直接聞くことが難しくなり、戦争の記憶継承の仕方が「ヒトからモノ」へと移行している現在、資料館、博物館などの文化施設の存在は重要です。

戦後(沖縄戦)80年を迎えた2025年、戦争を知る世代が減少する中、地上戦を経験した沖縄から「命(ぬち)どう宝=命こそ宝」の精神を世界へ発信していくために、沖縄県平和関連施設ネットワーク構築事業の一環として、県内8つの平和博物館な

どによるネットワーク「沖縄・平和と人権博物館ネットワーク」が設立されました。8つの施設が連携し、平和教育や人権啓発の活動を強化し、平和・人権の発信と継承を目指すものです。

命の尊さや人権の大切さを伝える交流・連携の場としてのネットワークの具体的な取り組みとして、2025年7月と10月には各施設の活動紹介や意見交換をおこなった平和シンポジウムが開催(オンラインで沖縄県外からの参加も可能でした)。戦争遺跡や戦跡、資料館を巡るバスツアー・スタンプラリー、平和学

習教材の提供などもおこなっています。

忘れてはならない記憶の継承を、多面的・重層的に発信していくネットワークの取り組みには、大きな意義があります。今後を注目したいと思います。

『観光コースでない沖縄』▶(高文研)



ひめゆり平和祈念資料館

「八重山戦争」の歴史と 軍事要塞化が進むいま

石垣・与那国 沖縄離島

4日間



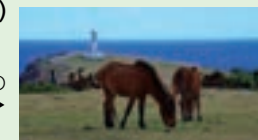
石垣島・大浜の掩体壕



▲25年9月、石垣駐屯地で公開された日米のミサイル車両(米防衛視覚情報配信サービスのWebサイトから)

旅行日程 2026年6月21日(日)～24日(水)
旅行代金 210,000円(羽田空港発着基準)
※一人部屋追加代金36,000円
定員 20名様(最少催行:10名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 4月17日(金)

与那国島・東崎の与那国馬▶



◆石垣島で体験「八重山戦争」の実状

地上戦はおこなわれなかった石垣島ですが、有病地への住民疎開で多大な犠牲を生んだ「戦争マリア」の実態、決戦に備えて準備され残された数々の戦争遺跡、沖縄本島に米軍が上陸した1945年4月以降連日空襲に見舞われた石垣島で撃墜された米海軍艦載機の乗員3名の捕虜を殺害した「石垣島事件」など、「八重山戦争」と呼ばれる離島の戦争の実状を現地に訪ねます。

◆台湾に最も近い国境の島でのミサイル部隊配備と住民の思い

小泉防衛相は2025年11/22、23に与那国島を訪れ、与那国駐屯地の拡張、ミサイル部隊の配備についての理解を町に求めました。与那国駐屯地はもともと沿岸監視隊が主体ということでしたが突然ミサイル部隊配備が発表され、自衛隊基地を容認する住民の中にも反発が広がっています。住民置き去りで進む島の軍事要塞化を島民の皆さんはどう思っているのか、交流します。

◆離島の歴史・文化と大自然を満喫

琉球王国の支配に翻弄された離島の歴史は、沖縄本島とは違った独自の文化を生み出しました。島の文化にふれるとともに、亜熱帯の緑に覆われた山々と世界屈指のサンゴ礁に囲まれたエメラルドの海にも心奪われます。離島だからこそこの旅を満喫します。

沖縄ブックレット紹介

【事前学習に】
【旅には行けないけれど沖縄に思いを馳せて】
【自分ごととして沖縄を考えるきっかけに】

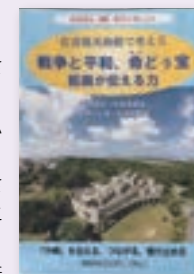
心を豊かにする 沖縄ブックレット、DVD

① 佐喜眞美術館で考える 戦争と平和、命どう宝 絵画が伝える力

2024年弊社企画・実施の旅の際におこなわれたシンポジウムを活化したブックレットとなります。

A5サイズ1冊 500円+送料

- ・佐喜眞美術館館長の佐喜眞道夫さんが解説する《沖縄戦の図》
- ・立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長安斎育郎さんによる講和
- ・佐喜眞美術館学芸員上間かな恵さんによるバプロ・ピカソのゲルニカと沖縄戦の図
- ・ひめゆり平和祈念資料館館長の普天間朝佳さんによる絵本ひめゆりとアニメひめゆり
- ・ツアー参加者の思い盛りだくさんな内容です。



ご注文は右記QRコードか
FAX (03-5577-6310) にて

②戦後80年 島うたに刻まれた沖縄

筆者が子どものころ、父と叔父が三線を弾き、母や叔母、祖父、祖母が加わり、途切れなく続いた島うたの世界。過酷な戦争と戦後を生き抜いてきたウチナーンチュ(沖縄の人々)にとって島うたが何であったのか。

A5サイズ1冊 800円+送料

- ・「沖縄戦の縮図」といわれる伊江島の「陳情口説」
- ・戦さ世と戦後の苦難の歴史をうたいあげた名曲「艦砲め喰え一残さー」とでいご娘の親子の物語
- ・戦さ世恨でい 弥勒世願でい(戦争を恨み平和を願う) 島うた8選のうたと解説



③私の沖縄戦体験から

DVD

目の前に戦(いくさ)がやってきた米軍上陸が迫る1945年3月の沖縄。ある日突然、学徒兵部隊・「鉄血勤皇隊」に全校あげて召集された沖縄師範学校。当時、師範学校予科1年、15歳だった古堅実吉さんが95歳となったいま、多くの学友の命を奪った沖縄戦の真実を静かに語ります。その「原体験」と証言は、戦の語り部の貴重な言葉であり、平和を求める人々への力強いエールです。



1枚 2,200円+送料